

ぜん
全

しん
進

全員で 進もう!



確かな学び通信
2026.7.3

3年生図画工作科「かき かき かき氷」②

3年生の「かき かき かき氷」の作品が完成しました。各教室にいろいろなおいしそうなかき氷が並ぶと、とても華やかでした。作品を完成させる過程で子どもたちがどんなことを感じ、考えていたかを共有します。



その色にした理由

レモンはあまずっぱくて、みかんはあまくてさっぱりしているからあいしょうがいいとおもいました。

本物っぽくするために工夫したこと

私は、かき氷のふわふわの氷が好きなので、白いクレパスでふわふわの氷を再現しました。
あと、シロップが多い所、普通の所、少ない所をわけれるように工夫しました。

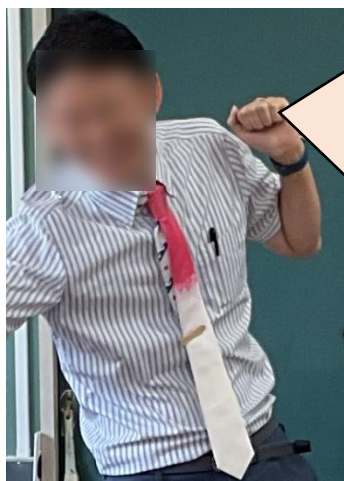
本物っぽくするために工夫したこと

とんとんとしたりました。
マンゴーとわかりやすくするためにマンゴーをつけました。

つくっていく中で考えていたこと

水💧を下↓に塗っているから、思ったよりも、色が薄くなって、思った以上に、色が考えていた味ぽくなくなった。

【授業者より】



教材研究が十分とはいえない中での授業でしたが…

制作の中での「心の動き」を大切にしてほしいと考えながら授業をしました。

例えば、白いクレパスで氷の形を作る時、うっすら見える「自分の氷」「友達の水」。「どんなのになるだろう?」と考えながら描くこと。薄い絵の具同士がぼんやりとじんで、かき氷らしくなったこと等です。

そんな瞬間の心の動きを大切に、自覚して制作にあたるようになってもらいたいです。

なので、振り返りでも「つくっていく中で考えていたこと」という観点を設けて、情動を振り返れるようにしました。